

令和7年度 国分寺市社会教育委員の会議 第3回定例会

日 時：令和7年6月19日（木）午後1時～

会 場：ひかりプラザ 204 会議室

1 開会

2 報告事項

①令和7年度第1回東京都市町村社会教育委員連絡協議会役員会・拡大役員会について

→ 議長から資料に沿って、他ブロックの研修内容等について説明した。

②令和6年度教育ビジョンに基づく主要施策の点検及び評価について

→ 事務局から資料に沿って、ビジョンの最終年度の総括としてまとめた内容を説明した。コロナ禍でも様々な工夫をしながら、事業を維持・継続したことなど、それぞれの取組の柱の達成状況評価について説明を行った。

《主な意見等》

- ・取組目標に対する評価の記載が分かりにくい。
- ・取組結果が見えるような記載にしてほしい。
- ・それぞれの取組のつながりが見えず、学びの循環が見えない。
- ・第3次ビジョンでは、それぞれの事業がそのように達成されたかその達成状況が分かりやすいといい。

3 協議事項

①令和7年度第2ブロック研修会について

《主な意見等》

- ・答申、リーフレットを中心に研修をどのように展開していくか。
- ・リーフレットの5つの提言から3分野（地域、福祉、学校）にどう展開するか。
- ・コロナ前後でどう変化があったか。コロナの絡め方、扱い方をどうするか。こだわらなくてもいいのではとの意見もあり。
- ・令和2、3年度は学校でも活動が停止した。令和4年度から工夫して動き始め、令和6、7年度はコロナ前に戻った感じである。
- ・地域と学校のつながりは、コロナ前よりも深まっている。
- ・グループ討議をどうするか。グループの分け方としては、5つの提言か、3分野か。
- ・ビデオは冒頭で流してもいいのでは。
- ・対面方式の再認識、大切さも。

- ・最後のまとめをどう持っていくか、そこから逆算するのもありか。
- ・発表の方向性、着地点をどうするか。
- ・国分寺市と自分の市との違いを認識するなど、研修で少しの気づきでも持ち帰ってもらえれば研修の意味もある。
- ・地域では、人と会うことの大切さを改めて感じて、その機会も増えている。
- ・グループ討議では、身近な課題の解決について議論してもいい。
- ・リーフレット作成時とも状況は変化している。
- ・キーワードである「届く」、「超える」、「広がる」について、事例発表に結び付けたい。
- ・それぞれのキーワードの説明が必要になるが、3つのキーワードが重なり合う部分ある。
- ・3分野（地域、福祉、学校）で3つのキーワードを組み込み事例発表し、3つのキーワードを入れて「これまで」、「これから」について議論してもいい。

4 閉会

<配布資料>

- 資料1 令和7年度第1回東京都市町村社会教育委員連絡協議会役員会・拡大役員会資料（抜粋）
- 資料2 令和6年度教育ビジョンに基づく主要施策の点検及び評価に係る資料